

会議名	第1回厚木市観光振興推進委員会
日 時	令和6年6月26日（水）14時～15時
場 所	本庁舎3階 特別会議室
出席者	出席者 11人 厚木市観光振興推進委員会委員6人 オブザーバー1人（一般社団法人厚木市観光協会専務理事兼事務局長） 事務局4人（産業文化スポーツ部長、商業観光課長、観光振興係長、商業観光課主査）

会議の経過は次のとおり。

1 開 会 商業観光課長

※石川委員の後任として、選出母体から岩崎氏が推薦された。田坂部長から委嘱状を交付。

2 案 件

(1) 厚木市観光振興条例運用状況について

資料1-1及び1-2に基づき説明。

【意見等】

委 員：資料1-2の「65 郷土芸能事業」について、令和5年度にはどのような事業を実施したのか。

事務局：実施結果については、「R05 実施結果」の列に記載のとおりである。市内の郷土芸能に携わる様々な団体の協力を得て、体験活動や講演等の普及啓発に努めている。

委 員：「75 受入環境整備事業補助金」について、外国人向けのパンフレット等を作成する団体への補助事業だが、令和5年度の具体的な成果物はあるか。

事務局：市内飲食店にて、外国人向けに英語表記のメニューを作成している。

委 員：飯山に和太鼓の団体があるが、練習場所の確保に困っていると聞いている。大きい音が出ても問題ないような練習場所があったら、後日情報提供をお願いしたい。

(2) 令和6年度観光振興に係る関連事業について

資料2に基づき説明。

【意見等】

委 員：「23 キャンプ場等誘致事業補助金」について、令和5年度に整備が始まった小鮎地区のキャンプ場（施工主：（株）人の森）だが、当初は令和6年のゴールデンウィーク頃に完成と聞いていたが、進捗はどうか。

事務局：補助金自体は令和5年度に交付済みであり、その後、種々微調整を行い、7月にオープンすると聞いている。

委 員：完成したら市の方でも広報するのか。

事務局：ホームページで紹介することを検討している。

(3) 観光振興に係る意見交換について

委 員：大花火大会の「市民優先有料観覧席」について、手売り販売とした経緯は。

事務局：市民が優先して観覧できること目的として、今年度から試行的に厚木及び海老名会場に 500 席ずつ設けることとした。市民であることを確認するため、それを証するものを見せていただくために手売り販売とした。

なお、初めての試みであり購入希望者が並ぶことも想定し、厚木市側ではアミューあつぎの地下道入口を販売所として設定し、人流に影響がないよう配慮している。

委 員：観光倫理の観点では、観光資源に対する地元住民の理解向上が重要であるといわれており、地元の方に集まってもらえる方策として、市民を優先するという発想はとても良いと思う。

委 員：飯山地区の整備状況について、進捗状況はどうか。

事務局：令和 5 年度については、ハイキングコースの中で破損がみられる木道 2 箇所について修繕を実施した。令和 6 年度については、同コース内で配管がむき出しになっている等の別の破損箇所について、修繕実施を予定している。

委 員：飯山観音については、1,300 年祭に向けて機運を高めているところである。着実に整備を進めていただきたい。

委 員：不動尻については、令和 6 年度に整備予定はないのか。

事務局：令和 5 年度整備をもって、一区切りしたと認識している。

委 員：鮎のつかみどりでは、ビニールを持ちながら鮎を取るような運用であったため、小さい子にとってはなかなか難しかったようである。

事務局：ビニールを持つ子、捕まえる子とその場で役割分担ができることが望ましいと考えている。

委 員：飯山桜まつりについては、祭りの存在や交通手段を知らない知人がいたと聞いている。

事務局：祭り自体は大変盛況であり、駐車場待ちで長時間待つ方も出ていた。周知方法については、広報あつぎだけでなく SNS も活用する等、ハイブリッドな手法で実施してまいりたい。

3 そ の 他

第 2 回会議は 10 月、第 3 回会議は 2 ～ 3 月に実施を予定している。

4 閉 会